

Q Report $\frac{2}{4}$

第77期第2四半期(中間)報告書
(2023年4月1日~2023年9月30日)

TOMITA

SINCE 1911

証券コード：8147



株式会社

T E T

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年3月期第2四半期を終了いたしましたのでここに営業の概況並びに第2四半期決算の状況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和による経済活動の正常化及び雇用情勢の改善等により、景気は緩やかな回復基調にあるものの、ウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引き締め等を背景とした為替変動及び原材料価格・原油価格の高騰、中国の景気減速懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

わが国の工作機械業界は、当第2四半期連結累計期間は、国内は需要が前年同期比24.2%減少、海外でも需要が前年同期比14.1%減少し、その結果国内外全体の受注額は17.7%減少し7,372億円となりました。

こうした環境下、工作機械を主力取扱商品とする当社グループの受注・売上につきましては、地域ごとに状況は異なるものの、受注額は設備投資需要の低下により前年同期比減少となりました。一方で、売上高は営業努力及び長納期化の一部解消等に伴い前年同期比増加となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は103億2千1百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益は3億3百万円（同70.0%増）、経常利益は為替差益の計上等もあり4億8千7百万円（同61.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億9千6百万円（同34.0%増）となりました。

わが国経済は、景気は緩やかな回復基調にあるものの、ウクライナ情勢、為替変動及び原材料・原油価格の高騰、中国における景気動向など先行き不透明な状況が続く可能性があります。

当社グループは半導体・建機関連等の需要が旺盛な業界や、航空機関連、船舶関連、医療機器関連業界への営業を強化、また欧州から輸入する最先端の自動車製造用機器類の取扱いを増やし営業基盤の拡大に務めております。国内においては引き続き地場密着型で提案営業を継続しながら、特に生産性向上や労働力不足の解決や、カーボンニュートル達成に貢献する自動化・省力化へのニーズにも積極的に応えてまいります。海外においては、インド・タイを含めたアジア地域、メキシコを含めた北米地域を重要戦略地域と位置付けており、引き続き重点的に投資を行うとともに営業を拡大することで日本の製造業の海外生産活動へのサポートを強化し、今後も海外拠点の活動を拡充してまいります。また、国内外のユーザーに近い場所で営業活動を展開することで、時代の変化に合わせてグローバルで高度化かつ多様化するお客様のニーズにお応えしてまいります。

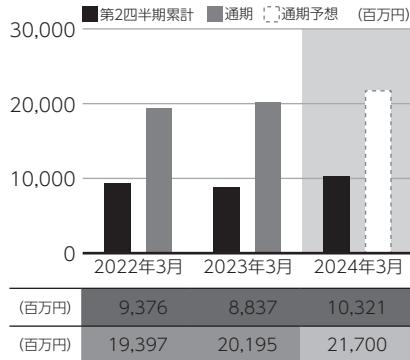
株主の皆様におかれましては、なにとぞ格別のご理解と、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。



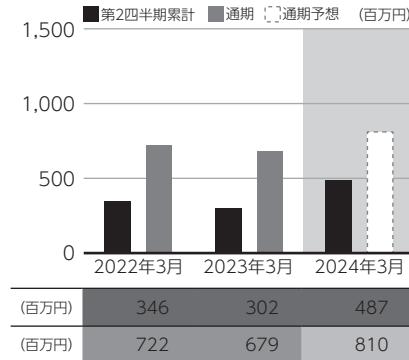
代表取締役社長

富田 稔

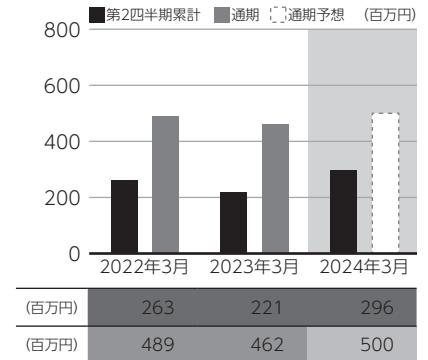
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



■連結貸借対照表 (要旨)

(百万円)

科目	当第2四半期 (2023年9月30日現在)	前期 (2023年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	13,199	13,458
固定資産	4,842	4,714
有形固定資産	1,101	1,099
無形固定資産	44	50
投資その他の資産	3,696	3,564
資産合計	18,042	18,172
負債の部		
流動負債	4,839	5,686
固定負債	1,545	1,522
負債合計	6,385	7,209
純資産の部		
株主資本	8,769	8,566
その他の包括利益累計額	2,569	2,132
非支配株主持分	316	264
純資産合計	11,656	10,963
負債純資産合計	18,042	18,172

■連結損益計算書

(百万円)

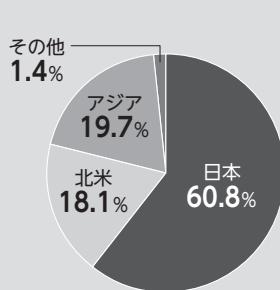
科目	当第2四半期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	前第2四半期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
売上高	10,321	8,837	20,195
売上原価	8,519	7,240	16,602
売上総利益	1,802	1,596	3,593
販売費及び一般管理費	1,499	1,418	3,036
営業利益	303	178	556
営業外収益	210	146	217
営業外費用	27	23	94
経常利益	487	302	679
特別利益	0	31	36
特別損失	7	16	8
税金等調整前四半期 (当期)純利益	480	317	707
法人税・住民税及び事業税	130	98	260
法人税等調整額	18	2	△13
四半期(当期)純利益	331	217	460
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	34	△3	△2
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	296	221	462

(注)非支配株主に帰属する四半期純利益の△は、損失を示しております。

■1株当たり四半期(当期)純利益

	■第2四半期累計	■当期	□通期予想
(円)	50.84	42.68	57.19
(円)	94.36	89.26	96.43

2024年3月期第2四半期 地域別売上構成



◀日本▶

工作機械メーカー等への搭載品並びに一部の業界での設備投資増加及び長納期化の解消等を主因として売上が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は62億7千2百万円(前年同期比20.2%増)となり、営業利益は1億2千4百万円(同52.6%増)となりました。

◀北米▶

自動車メーカー並びに自動車部品メーカー向けの需要増加を主因として売上が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は18億6千7百万円(前年同期比16.7%増)となり、営業利益は9千7百万円(同74.1%増)となりました。

◀アジア▶

中国等一部地域において需要が減少傾向にあるものの、タイ及びインドを中心として二輪車メーカー向けの売上が増加した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20億3千6百万円(前年同期比16.1%増)となり、営業利益は6千8百万円(同117.2%増)となりました。

◀その他▶

前年度の自動車メーカー向け設備投資の反動により売上が減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億4千5百万円(前年同期比45.7%減)となり、営業利益は0百万円(同94.8%減)となりました。

■株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
株主配当受領 3月31日（中間配当を行う場合9月30日）
株主確定日
定時株主総会 6月中に開催
株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(お問い合わせ先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）

単元株式数 100株
公告の方法 ホームページに掲載いたします。
URL : <http://www.tomitaj.co.jp>

(お知らせ)

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■会社の概要 (2023年9月30日現在)

商号	株式会社トミタ
創業	1911年5月1日
設立	1943年4月26日
資本金	397,500,000円
事業所	東京都中央区銀座8-3-10
本社事務所	東京都大田区大森中1-18-16 営業統括本部 電話 03 (3765) 1185 (代)
大阪支店	名古屋支店 静岡営業所 栃木営業所
神奈川営業所	北陸営業所 埼玉営業所 茨城営業所
中国営業所	山梨事務所 四国事務所 東北事務所

■役員の状況 (2023年9月30日現在)

取締役会長	富田 薫
代表取締役社長	富田 稔
専務取締役〔国内管掌〕	樋口 勝幸
常務取締役〔海外管掌〕	小倉 弘司
取締役〔総務部長〕	中村 龍二
取締役〔中部・西日本営業部長〕	栗田 純夫
取締役〔東日本営業部長兼営業統括本部長〕	樺木 徹
社外取締役	金口 和正
常勤監査役	齋藤 正
社外監査役	土師 良一
社外監査役	杉本 健司

■関係会社

- 株式会社ツールメールクラブ
- 株式会社トミタファミリー
- TOMITA U.S.A.,INC. (OHIO)
- TOMITA U.S.A.,INC. (ALABAMA)
- TOMITA U.S.A.,INC. (INDIANA)
- TOMITA U.S.A.,INC. (GEORGIA)
- TOMITA U.S.A.,INC. (KENTUCKY)
- TOMITA CANADA,INC. (ONTARIO)
- TOMITA MEXICO,S.DE R.L.DE C.V. (LEÓN)
- TOMITA MEXICO,S.DE R.L.DE C.V. (QUERÉTARO)
- TOMITA U.K.,LTD. (OXON)
- TOMITA ASIA CO.,LTD. (BANGKOK)
- TOMITA ASIA CO.,LTD. (CHONBURI)
- TOMITA ENGINEERING (THAILAND) CO.,LTD. (BANGKOK)
- 广州富田貿易有限公司 (GUANGZHOU)
- PT.TOMITA INDONESIA (BEKASI)
- VIETNAM TOMITA CO.,LTD. (HANOI)
- VIETNAM TOMITA CO.,LTD. (HO CHI MINH)
- TOMITA INDIA PVT.LTD. (GURUGRAM)
- TOMITA INDIA PVT.LTD. (GUJARAT)
- TOMITA INDIA PVT.LTD. (BENGALURU)